

心と物を組み合わせた支援を息長く

今日は3月11日から214日目です。まだ被災地では3926人の方が行方不明のままです。

もし、自分の家族がその1人だったならばと考えると…その辛さは言い尽くせません。

亡くなられた方は1万5822人にもものぼってしまいました。

仮設住宅をはじめ一時避難されている方々は日々の暮らしはもとより、先の展望が持てないままです。

深刻な問題が山積しています。中でも原発事故に伴う健康被害については不安が広がっています。

しかし、一方で日がたつに連れて被災地の人々のことに、思いを寄せる時間が少なくなってきました。

私たち実行委員会は、立ち上げた時から「決して忘れないで欲しい」という被災者のことを心に収めて活動を進めています。

応援の輪を拡げるため

9月28日、東京の法政大学中学高等学校から2人の先生が来校されました。実行委員会の活動を知りたい。それを自分の学校に拡げたい。そのために実行委員にインタビューに来られました。法政中高でも活動が拡がればと願っています。

一昨日、京都の高校生人権フォーラムに呼ばれ、レポート発表をしてきました。公立の先生や生徒の皆さんに45分間も活動の思いや様子を話しました。終了後今度は全国の集会でも発表して欲しいと言われました。応援したい・支援したい気持ちを形にするためにこれからも発信していきます。

クリスマスでも

第3弾のバンダナ・ハンカチを販売しました。また、クリスマス・キャンドルを作り、それにメッセージを書きいただきました。現在のバンダナ・ハンカチの売り上げは217000円です。

東北の冬は早い！仮設住宅での冬は厳しい！

今回作成した6種類のバンダナ兼大判ハンカチの売上金で、ストーブを送ります。

バンダナは1200枚作りました。まだ800枚あります。1枚500円です。是非ご協力下さい。

気仙沼からの便り

バンダナ送っていただき有り難うございます。いつも頑張っておっしゃっているんですね。

体育祭・文化祭もしました。高校2年生は例年関西へ修学旅行に行きます。今年は新幹線でなく旅費を抑えるためにバスで往復します。全員が参加できるようにとの配慮からです。こちらの先生や生徒の思いや努力や工夫で一つ一つの行事が終わっていきます。今まで当たり前なのが今回どんな形であれ出来たことに熱い思いがこみあげてきます。当たり前は何一つない中から、していくのですから関係者にただただ感謝しています。頑張っていきます。＜部分的な紹介です。＞

東日本大震災に関する英文を読み

高校1年4組の生徒が書いた感想文の一部を紹介します。

今も家がなくて避難所に暮らす人たちがたくさんいます。その人達が一日でも早く安心して住むことができるのを祈っています。

早くみんなが普通の生活ができるようになってくれることが一番の願いです。

被災地には原発の問題もあるので復興には何十年もかかると思います。私たちも東北が復興するまで支援をしていくべきだと思います。

正直、もし自分がこんな風な災害にあった時立ち直れないのではないかと思います。でも、東北の人たちはめげずに必死でがんばっています。私はそんな人々の姿を見ると人間はすごいなと思います。

私が感動したことは世界各国からの支援であった。日本のために多くの支援金・支援物資が集められ、多くの人が日本の現状に心を痛めた。中でも日本のために泣いてくれる子どもたちの映像は私の心を打った。

「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉がありますが、まさにこのことだと思います。この地震は放射能が漏れだしてとても大変なことになっています。だからきっと忘れられないと思います。

私ら学生が少しでも、ほんの少しのことでもできることがあるので、話し合いを実行しなければと思いました。私たちの少しの行動が現地の人々に伝わっていたり、役に立てていれば幸いです。

ここで生活していた人たちはどれほど辛い思いをしているのだろうと思い心が痛みました。それなのに被災者の方達は前に進もうと前向きになっていてすごいと感じました。

Many messages were told to Japan by "twitter", many volunteers came to Japan. I thought that "people around the world was able to be one through the Japanese earthquake".

今も続いている余震、次はいつ来るか分からない巨大地震、それによって起こる津波。被災地の人々は5ヶ月たった今でもたくさんの方に苦しめられているんだと思います。

私たちはこれから今回のような震災が再び私たちの元に襲いかかってきた時、二度とこのような被害が出ないよう、この国をより安全な地にするためにはどのようにしなければならぬのか考えていかなければならないと思いました。

私も少しでも力になれるように小さなことでも1つ1つを意識して生活していきたいと思います。

形ある物もとても大事だと思いますが、気持ちを届けることもとても大事なことだと思います。先日私は祇園祭に行ったのですが、その時応援メッセージを書ける場所を見つけました。机一杯に広げられた布にたくさんのメッセージが書かれていました。それを見て、私も遠くからでもできることはしようと思いました。

世界中の人々が日本のために思って援助をしてくれたことはとても感動した。日本人にはこれから復興していく力があると思う。

I am very moved by foreign people mind Japan. When I went to Australia, my host families were considerate to us and host sister wrote "Pray for Japan". That is very wonderful!

大切な家族、家を無くされたりと大変なことはたくさんあったと思います。でも、がんばってほしいと思います。私もできる限りの援助はしていきたいと思います。

I think that this earthquake changes all over the world. Because Japan is helped by all over the world. For example, many countries send relief supplies. I send my friend water and food.

これからも、もっと長い支援を日本と世界でしていかなければならないと思いました。

私たちは災害が来るにあたって、同じ事をくりかえさないよう少しでも被害をなくすようにいつもこの地震や津波のことを忘れずに行動していくべきだと思います。

いろいろな支援があります

石巻は日本の硯の大半を生産しています。「雄勝硯」です。職人さんも被災され、石を切り出すための道も閉ざされている中で、この伝統産業を守る取り組みが行われています。被災した硯を洗い、もう一度面に墨を施して壊れた部分を直して買っていただく支援です。中高事務所の河原林さんがその硯をお持ちです。硯を見せていただきました。硯には石の重みにねがいの重みがずっしりとのっかっていました。